

受験対策プログラム

国家試験対策を意識した取組として、1 年次では、利用開始直後に学習手段の基本的な操作技術等についての講座を開講して、国家試験対策の初動における学びの環境を身につけます。

各学年の前期・後期中間には、形成的評価を通じて個々のつまづきやその原因を早い段階で把握します。教官は必要に応じて補習や長期休業中（夏季・冬季）の支援で不得意科目の克服や勉強の進め方をサポートします。前期・後期期末における総括的评价においてもその結果に応じて補習や長期休業中（冬季・春季）の支援を行います。また、受験科目に関する意識調査と到達度チェック試験を定期的に行い、国家試験に対する動機づけと個々の学習課題の把握に努めています。このほか受験に対する不安や悩み事を気軽に相談できる場として、学習相談会や個別面談を設けています。

3 年次になると本格的な国家試験対策として年 3 回の模擬試験や国家試験直前の受験対策講座、必要に応じて受験対策補習を企画します。知識の定着を図り、国家試験合格水準への到達を目指します。長期休業期間（夏季・冬季）中は、科目別補充支援、自主的学習支援、教官特別講座など、特に苦手科目を中心とした対策を実施します。教官が直接指導を行う受験対策以外に、ライブラリーの活用も勧めています。より多くの過去問題に触れることで、実戦力を高めることが目的です。

卒業した再受験者の国家試験対策にも力を入れています。希望者は資格取得に向けて、再受験通信指導と再理療教育を利用することができます。

当センターにおける国家試験対策のプログラムは以下のとおりです。

対策 1 初期学習支援（1 年生中心）

国家試験対策の初動における学びの環境をつくるため、PC、デイジー機器、点字器、墨字補助機器等の基本的な技術を学ぶ、学習技術講座を実施します。学習技術講座には、模擬授業、自己学習、模擬受験を組み込むことで、早期に国家試験対策に対応できる学習スタイルを構築できるようにします。他にも基礎学力不足、学習補助機器の操作や学習への不安を抱える利用者に対しては、必要な講座（基礎学力講座、点字・デイジー学習講座、学習相談会）を実施します。

対策 2 長期休業期間中の支援（夏季・冬季 1,2,3 年生、春季 1,2 年生）

長期休業期間を有効に活用し、不得意科目の克服とともに、知識のスキルアップを図ります。成績不振科目を有する利用者に対する補習として教官が企画して実施する科目別補充支援、個人のニーズに基づき、不得意科目を中心に知識の向上を図る自主的学習支援、教官が企画して行う教官特別講座などがあります。

対策3 国家試験受験科目に関する意識調査の実施（1,2,3年生）

利用者が抱える受験上の課題を早期に把握し、よりきめの細かい学習支援に活用するため、受験科目に関する意識調査を実施します。調査結果は補習や長期休業期間中の支援等に活用します。

対策4 到達度チェック試験の実施（1,2,3年生）

国家試験を目標に学習に取り組む意識付けとするため、学習の到達度をチェックする実力試験を実施します。

対策5 模擬試験の実施（3年生）

国家試験の受験者に対して模擬試験を実施します。本試験の形式とその傾向を理解し、自己の実力を認識することを目的としています。国家試験に向けて、準備をより効果的に進めます。

対策6 受験対策補習（3年生）

模擬試験結果の成績を踏まえ、国家試験の合格に向けて、放課後及び長期休業期間に補習授業を実施します。

支援7 受験対策特別講座（3年生）

特別時間割による受験対策特別講座を設け、受験学年に配当された科目を除く既習国家試験科目の総点検とポイントの再確認を行います。

支援8 再受験通信指導（卒業生）

卒業生の国家試験合格率アップにも力をいれています。合格に向けて、模擬試験を軸とした通信指導を実施します。具体的には、試験問題の送付、返信された答案の採点と解説の送付、資料の提供、学習に対するアドバイス等です。

対策9 再理療教育（卒業生）

原則として前年度に卒業して国家試験に不合格となった方で、再教育を行うことにより国家試験に合格する可能性のある方については、週18時間以内の国家試験対象科目の講義の受講が可能です。そのほか模擬試験、受験対策特別講座、受験対策補習等を活用できます。